

平成 29 年度 二宮高等学校 学校目標

| 視点 | 4年間の目標 (平成28年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | |
|-------------------|--|---|--|--|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 |
| 1 教育課程 学習指導 | 生徒の多様なニーズに応える教育課程を編成する。 生徒の学習意欲や探究心の向上を図り、基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力を養う授業の改善に取り組む。 | 平成30年度入学生教育課程を周知し、教育課程変更への準備を進める。 思考力・判断力・表現力を養う授業研究を行う。 | 学校案内や学校説明会配付書類等の改訂を行い、教科書選定等の校内準備を進める。 生徒同士が教えあい学び合う協働学習の効果的な授業への導入方法について研究する。 | 教育課程変更による関係文書の改訂、周知及び校内準備が確実にできたか。 生徒間で学び合う関係を形成し、生徒が互いに考えながら学習を進めるとともに学習意欲の向上につながる授業実践ができたか。 |
| 2 生徒指導・支援 | 基本的な生活習慣の確立と教育相談体制の充実を図る。 生徒の主体的な活動を支援し、部活動の活性化を図る。 | SC・教育相談コーディネーターを中心に、教育相談体制の充実を図る。 加入率を上昇させる取組みを行う。 | 必要に応じてケース会議等を開催し、生徒情報の共有を図る。 年度当初の勧誘活動を充実させるとともに、年度途中からの加入を働きかける取組みも行う。 | 生徒や保護者への対応が適切に実施できたか。 部活動加入率が上昇したか。 |
| 3 進路指導・支援 | キャリア教育・シチズンシップ教育の充実を図る。 個々の進路希望実現をきめ細かく支援する。 | 地域と連携したシチズンシップ教育を実施する。 進路希望の実現に向けて、個別指導の充実を図る | 二宮町と連携し、消費者教育を行う。 面接指導を中心に指導する。 | 事後アンケートにより意識が高まったか。 個別相談（面接指導）を活用した生徒が増えたか。 |
| 4 地域等との協働 | 地域との連携・協働の充実を図り、信頼される学校づくりを推進する。 | ボランティア活動の活動先を新たに開拓する。 | 二宮町内を中心に各関係機関との連携を密にする。 | 昨年度に比較して活動の機会を増やすことができたか。 |
| 5 学校管理 学校運営 | 事故・不祥事防止を徹底するとともに、教職員の実践的指導力を一層向上させる。 防災教育と安全安心な学校づくりを推進する。 | 成績処理、なかでも欠課時数に関わる処理を確実に遂行できる体制を作る。 防災体制を整備する。防災教育を推進し防災意識の向上に努める。保護者や地域(二宮町)と連携して災害図上訓練(DIG)を継続して実施する。 ・校内の快適な教育環境づくりを推進する。 | 入力から点検までの業務の注意事項を整理し、研修会を通じて一人ひとりの意識とスキルの向上を図る。 学年進行で生徒の防災備品の充実をはかる。防災避難訓練・地区別集会の実施、および二宮町防災課と連携して保護者・生徒・教員が参加する災害図上訓練(DIG)を実施し防災意識を高める。二宮町総合防災訓練に会場として参加し地元自治会との連携をはかる。 ・日常的に校内美化に取り組み、また職員対象にISO研修を実施する。 | 入力ミス等による修正件数が前年度に比較して50%減になったか。 DIGの事後アンケート等により、防災意識を高めることができたか。 ・環境美化について分別回収の推進やゴミの減量に取り組むことができたか。 |